

映画

二宮金次郎

上映会
入場無料
〈全席自由〉
お問い合わせ方法
裏面に記載

出演 合田雅吏 田中美里 成田湊 榎木孝明（特別出演） 柳沢慎吾 田中泯
犬山ヴィーノ 長谷川稀世 竹内まなぶ（カミナリ） 石田たくみ（カミナリ） 渡辺いっけい 石丸謙二郎 綿引勝彦
監督 五十嵐匠
脚本 柏田道夫 原作「二宮金次郎の一生」（三戸岡道夫 栄光出版社刊）
音楽 寺嶋民哉 プロデューサー 永井正夫 制作 映画「二宮金次郎」製作委員会
©映画「二宮金次郎」制作委員会 2019/日本/カラー/113分 ninomiyakinjirou.com

令和7年9月21日(日)
清水テルサ (静岡市清水区島崎町223)

第1回上映 10:00 (開場 9:30) 第2回上映 14:00 (開場 13:30) 第3回上映 17:30 (開場 17:00)

主催：一般社団法人 中駿報徳社

後援：静岡市、静岡市教育委員会、公益社団法人 大日本報徳社、一般社団法人 報徳同栄会、静岡県中小企業団体中央会、静岡新聞社・静岡放送





小学校の校庭に必ずと言っていいほどあった金次郎像。
薪を背負って勉学に励んだあの少年が、その後、
600以上の村の復興を手がけたことをご存知だろうか？

200年前に金次郎が辿り着き、守り抜いた思想の数々は、
今も変わらず、私たちの中に生き続ける。

幼い頃、両親が早死にし、兄弟とも離れ離れになった二宮金次郎——。青年になった金次郎は、小田原藩主に桜町領（現・栃木県真岡市）の復興を任される。金次郎は、「この土地から徳を掘り起こす」と、“仕法”と呼ぶ独自のやり方で村を復興させようとするが、金次郎が思いついた新しいやり方の数々は、一部の百姓達には理解されるが、保守的な百姓達の反発に遭う。そんな中、小田原藩から新たに派遣された侍・豊田正作は、百姓上りの金次郎に反発を覚え、次々と邪魔をし始める。はたして、金次郎は、桜町領を復興に導けるのか？

監督は『地雷を踏んだらサウナ』『長州ファイブ』の五十嵐匠。プロデューサーと脚本は、『武士の家計簿』の永井正夫と柏田道夫のコンビが再タッグを組んだ。また、音楽は、『半落ち』で日本

アカデミー賞優秀音楽賞受賞の寺嶋民哉、撮影は、『蟬しぐれ』で同優秀撮影賞受賞の釘宮慎治と、ベテラン映画人が集結。

主人公の金次郎を演じるのは、「水戸黄門」格さん役でお馴染みの合田雅吏。金次郎を支える妻・なみにNHK連続テレビ小説「あぐり」の田中美里、敵役・豊田正作に舞台を中心に活躍している成田渥、小田原藩主・大久保忠真役に榎木孝明、反発する百姓・五平役に、本作でシリアスな演技に驚くほどの新境地を見せる柳沢慎吾、成田山新勝寺伝説の貫主・照胤役に田中泯。さらに、金次郎の伯父・二宮万兵衛役に渡辺いっけい、服部十郎兵衛役に石丸謙二郎、斎藤平左衛門役に綿引勝彦など、ベテラン実力俳優たちが脇を固めている。また、人気お笑いコンビ・カミナリの竹内まなぶ、石田たくみが、本作で映画デビューを飾っている。

復興に命を賭けた二宮金次郎の、
そのドラマチックな生き様が魂を揺さぶる、感動作の誕生です。



公式サイト：ninomiyakinjrou.com



@Hoshimovie



@Hoshimovie



QRコードでも
お申し込いただけます。

映画鑑賞券お申込み方法

お問い合わせ先：一般社団法人 中駿報徳社（静岡市清水区鶴舞町4-38）

① 電話申込み 054-365-3456 ② FAX申込み 054-365-3458 ③ メール申込み chusun@gaea.ocn.ne.jp

鑑賞券お申込み期間：令和7年7月1日(火)～9月19日(金)

氏名				住所			
電話番号				希望人数	名	鑑賞時間	〇で囲んでください。 10時00分 14時00分 17時30分

・上記内容を各申込み方法でお申込みください。・映画鑑賞券としてハガキまたはメール(PDF)を送付いたしますので、当日ご持参ください。・メール(PDF)につきましては、受付でメールの画面を見せて頂いても構いません。・複数人で鑑賞する場合でも映画鑑賞券(ハガキ)1枚で複数人入場といたします。・車いすでご来場いただく場合は当社までお電話ください。・ご希望される時間帯が一定数に達した場合、他の時間帯での鑑賞をお願いさせていただきます場合もございます。申込みは先着順となりますのでご了承ください。・近隣に駐車場（清水駅東口駐車場・284台、しずなびパーキング清水駅前・56台）はありますが、近隣施設にて催し物が開催され混雑が予想されることから公共交通機関をご利用くださるようお願いいたします。